

# 令和7年 新春のごあいさつ

## 新たなスタート、 笑顔あふれるまちづくりへ



最上町長 高橋 重美

新年あけましておめでとう  
ございます。令和7年の新春を  
迎え、町民の皆様におかれま  
しては、健やかに新年をお迎  
えのことと心よりお慶び申し  
上げます。

さて、昨年は7月に二度に  
わたる豪雨災害に見舞われ、  
町は過去最大ともいえる甚  
大な被害を受けました。この  
困難な状況において、町民  
の皆様をはじめ、関係機関  
の皆様など、多くの方々  
から多大なるご支援を賜り、  
心から感謝申し上げます。

未曾有の災害からの復旧・  
復興には時間がかかること  
もありませんが、令和7年  
度におきましても、一日も  
早い復旧・復興を最優先課  
題として全力で取り組

んでまいります。

また、令和6年度は町制  
施行70周年という節目の  
年でもありました。この70  
年間、先人たちがその英知  
とたゆみない努力によって  
築いてきたまちづくりの土  
台の上に、私たちは立って  
いるということを忘れては  
けません。その重みを実感  
しながら、これからの町の  
将来を見据え、町民の皆  
様と共に考え、共に行動  
し、未来を描きながらま  
ちづくりを進めていくこと  
が重要であります。

70周年を迎えたこの機  
会を新たなスタートとし、  
私たちの町が持つ独自の  
魅力を再認識するとともに  
「最上町らしさ」を見出し、  
それを次世代へとつない

でまいりたいと考えており  
ます。厳しい行財政運営が  
強いられるなか、「協働でつ  
くる 未来へ つなぐ 持続可  
能なまちづくり」を令和7  
年度の町政運営の基本目  
標として掲げさせていただきました。  
この目標は、町が目指す  
べき方向性を示すもので  
あり、町民の皆様との協  
力によってはじめて実現  
可能となります。

これまで経験したこと  
のない人口減少による縮  
小社会において、私たち  
は様々な困難に直面して  
おり、このことから生じ  
る課題を避けて通ること  
ができません。

こうしたなかにあつても、  
次代を担う人材育成、担  
い手の確保に力を入れる  
とともに、自然災害など  
の危機的な状況にも柔  
軟に対応できる持続可  
能な財政基盤を構築し、  
将来にわたって安定した  
行政サービスを提供し  
ていくことが私たちの  
使命でもあります。

人口減少や少子高齢化  
といった社会構造の変  
化や、景気変動などの不  
確実な要素があるなか  
においても、持続可能  
なまちづくりを進めて  
いくためには、町民の  
皆様をはじめ、地域、  
企業

など様々な主体の力を  
結集させ、社会情勢に  
対応しながら次代に  
引き継いでいく必要  
があります。今は確  
かに大変な時期か  
もしれませんが、私  
は、こうした厳しい  
状況であるからこそ、  
「あの時、みんなで  
頑張った」という  
自信と誇りを町の  
将来を担う子ども  
たちに伝えながら、  
この難局を乗り越  
え、未来へつなぐ  
道を築いてまいり  
たいと考えてお  
ります。

今年の干支は巳年  
です。巳は蛇を表し、  
古来より再生や復活  
の象徴とされてき  
ました。未曾有の  
豪雨災害からの復  
旧・復興に向けて一  
歩一歩着実に歩ん  
でいくとともに、「  
魅力をつなぐ」を  
合言葉に、町民の  
一人ひとりが自分  
の役割を実感しな  
がら、自信と誇り  
を持って活躍でき  
るまちづくりを  
目指し、全力を  
挙げて邁進して  
まいりますので、  
一層のご支援とご  
協力を賜ります  
ようお願い申し  
上げます。

令和7年が町民の  
皆様にとりまして  
健康で幸多き一年  
となりますよう、  
心からご祈念申  
し上げ、年頭の  
あいさつといた  
します。